

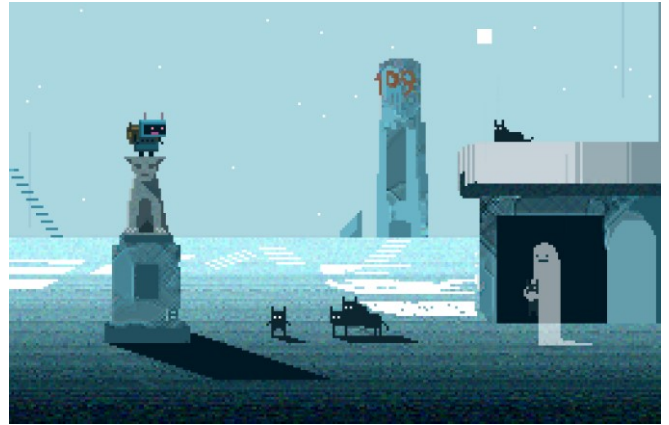
解放せよ！あなたのピクセルアートが、渋谷の街を彩る！

『シブヤピクセルアートコンテスト2019』開催決定！

～「ドット絵の匠」渋谷員子や「emojiの生みの親」栗田穰崇が審査！渋谷発のピクセルアートコンテスト～

応募期間：2019年2月1日(金)～3月31日(日)

シブヤピクセルアート実行委員会は、今年で3回目となる「シブヤピクセルアートコンテスト2019（以下、ピクセルアートコンテスト）」を、2019年2月1日(金)の特設ページの公開を皮切りに開催し、国内に留まらず世界中から多様な「ピクセルアート」作品を募集いたします。



左：Pixel Art by Zennyann

右：昨年のコンテストの最優秀賞：SHIBUYA by Zennyann

「シブヤピクセルアート」は、本来デジタル画面の中に存在する「ピクセルアート」を、「ビットバレー」と呼ばれる渋谷の街に引っ張り出し、その意味や魅力に迫る「試み」です。今回、開催される「ピクセルアートコンテスト」では、字通り「ピクセルアート」を「アート」として解放し、作品の中に潜むアーティストの「個性」、「社会性」、「構成力」を審査し、その本質や内部に迫ろうとしています。

応募者は、国籍・年齢・性別・社会人・学生・団体・個人いずれも問わず、TwitterやInstagramのアカウントさえあれば、世界中どこからでも応募が可能で、誰にでも開かれたコンテストです。今回は、「シブヤ」「時代」「人間」「妖怪」「お祭り」のいずれかのテーマの中から一つ、または、複数のテーマを組み合わせ「ピクセルアート」を制作いただき、「#shibuyapixelart2019」のハッシュタグと「作品タイトル」を付けて投稿いただけます。

審査員には、一般財団法人渋谷区観光協会の代表理事金山淳吾氏をはじめ、ファイナルファンタジーシリーズのアートディレクションを担当し、「ドット絵の匠」として広く知られる渋谷員子氏、NTTドコモでiモードや絵文字の企画・開発を行い「絵文字の生みの親」としても知られる栗田穰崇氏、『美術手帖』編集長である岩淵貞哉氏、ドット絵のGIFアニメーションで世界中のファンを魅了する豊井祐太氏、そして、昨年の「ピクセルアートコンテスト」で最優秀賞を受賞したピクセルアーティストZennyann氏など、「アート」「ゲーム」「カルチャー」の各分野でご活躍の方々をお招きしました。

さらに、コンテストの優秀賞受賞者は、東京急行電鉄株式会社が渋谷の街中で展開する「ROADCAST」の協力のもと、2019年6月中旬に渋谷駅周辺100カ所（予定）で「Shibuya Pixel Art Graffiti（仮）」と題して作品が展示され、2019年9月頃に開催予定の「Shibuya Pixel Art 2019」にアーティストとして参加できる他、9月発行予定の「ピクセルアーティストコレクションブック」に作品を掲載することができます。

協賛には、「様々なプロダクトやサービスの根幹にクリエイターやアーティストが深く関わることで、世界中に沢山のデライト(喜び・楽しみ)を届け続ける」株式会社ディー・エヌ・エー(DeNA)をはじめ、この取り組みに多くの賛同とサポートをいただいております。

応募締め切りは、2019年3月31日（日）24:00です。

詳しくは、「<https://pixel-art.jp/03/contest/>」をご覧ください。
昨年の受賞作品は、「<https://pixel-art.jp/02/contest/>」をご覧ください。

■「シブヤピクセルアートコンテスト2019」の募集内容

【応募要項】

「シブヤ」「時代」「人間」「妖怪」「お祭り」のいずれかのテーマ、または、それらの組み合わせを「ピクセルアート」で表現。期間中、TwitterまたはInstagramで、「Shibuya Pixel Art」公式アカウントをフォローし、自身が制作したイラスト、アニメ、映像、彫刻、刺繍、写真などを「#shibuyapixelart2019」のハッシュタグと「作品タイトル」を付けて投稿。

【スケジュール】

応募期間：2019年2月1日（金）～3月31日（日）24:00

一次審査：2019年4月中旬

最終審査：2019年4月下旬

結果発表：5月上旬～中旬

表彰式・作品展示：6月中旬～下旬

【応募資格】

国籍 / 年齢・性別 / 社会人・学生 / 団体・個人 いずれも不問

【応募方法】

期間中、TwitterまたはInstagramで、「Shibuya Pixel Art」公式アカウントをフォローし、自身の「作品タイトル」と「#shibuyapixelart2019」のハッシュタグを付けて投稿。

【審査員】

- ・一般財団法人 渋谷区観光協会代表理事 金山淳吾氏
- ・株式会社スクウェア・エニックス アートディレクター 渋谷員子氏
- ・ドワンゴ株式会社 カドカワ株式会社 取締役 栗田穰崇氏
- ・『美術手帖』編集長 岩渕貞也氏
- ・イラストレーター 豊井祐太氏
- ・イラストレーター/ピクセルアーティスト/シブヤピクセルアートコンテスト2018最優秀者 Zennyann氏

【審査基準】

審査員が、特に重視するポイントは、以下3つの観点です。

- 独自性 (Originality) …「ジブン」らしさや「個性」
 - 社会性 (Sociality) …「シブヤ」を代表とする社会との「関係性」や社会に対する「問い」
 - 構成力 (Story-telling) …与えられたテーマに対する「表現」、その鋭さや深さ、美しさ
- 審査員が一番共感できた作品をそれぞれの審査基準（ジブン）で選出します。

【賞品】

※全審査員による最終審査にて、『ピクセルアート』の独自性、社会性、構成力の3つの観点で、優れた作品に贈られます。

最優秀賞（1名）：賞金30万／Wacom製品（Wacom Intuos Pro）／2019年6月中旬に「ROADCAST」の協力のもと渋谷駅周辺100カ所（予定）で展開される「Shibuya Pixel Art Graffiti（※1）」で受賞者の作品を展示＆紹介、2019年9月頃に開催予定の「Shibuya Pixel Art 2019」にアーティストとして招致（※2）

優秀賞（10名）：

Wacom製品（Wacom Intuos）／2019年6月中旬に「ROADCAST」の協力のもと渋谷駅周辺100カ所（予定）で展開される「Shibuya Pixel Art Graffiti（※1）」で受賞者の作品を展示＆紹介、2019年9月頃に開催予定の「Shibuya Pixel Art 2019」にアーティストとして招致（※2）

※1 …「Shibuya Pixel Art Graffiti」は仮の名称です。「ROADCAST」とは、東京急行電鉄株式会社が、2018年7月から開始した未使用壁面を活用した街メディアです。

※2 …招致とは「作品展示」を指します。展示場所は、渋谷キャストやキャットストリート周辺を予定しています。

特別賞（1名）：原宿にある「adidas Originals Flagship Store Tokyo」での特別展示

部門賞：

- Limited Pixel Art賞（4名）…制限された升目や少ない色数で、芸術性に富んだ作品。
- Analog Pixel Art賞（1名）…デジタル表現に留まらず、アナログで、最も意外性に富んだ作品。
- Beyond Pixel Art賞（1名）…表現手法に拘らず、「ピクセル」を再定義し、最も独創性に富んだ作品。

参加賞（全員）：2019年9月頃に開催予定の「Shibuya Pixel Art 2019」の参加者スペースにて応募作品をアピール。1マス提供（※3）

※3 …提供されるスペースは、壁面を想定しています。1マスのサイズは、正方形を想定しており、参加者の数に応じて変更となります。参加方法は、後日公式サイトおよびSNSで告知いたします。

■「シブヤピクセルアートコンテスト2019」の審査員



特別審査委員長：金山淳吾

一般財団法人渋谷区観光協会 代表理事／一般社団法人渋谷未来デザイン 理事／EVERY DAY IS THE DAY クリエイティブ・ディレクター

1978年生。広告会社、音楽会社でのエンタテインメント事業開発を経てクリエイティブアトリエTNZQを設立。2016年より一般財団法人渋谷区観光協会の代表理事として渋谷区の観光戦略・事業を牽引し、渋谷区をステージに様々なプロジェクトをプロデュース。



特別審査委員長：渋谷員子

株式会社スクウェア・エニックス
CGデザイナー／アートディレクター

『ファイナルファンタジー』シリーズではキャラクターを中心としたドット絵の制作を担当。「ドットの匠」として広く知られ、その作品の数々で多くのファンを魅了している。



特別審査員：栗田穰崇

株式会社ドワンゴ 取締役／ガドカワ株式会社 取締役

NTTドコモでiモードや絵文字の企画・開発を行う。自身が手がけた絵文字は、2016年にニューヨーク近代美術館（NY MoMA）に永久収蔵された。現在はドワンゴでniconicoの運営代表として、さまざまなネットサービスやゲームをプロデュースしている。



特別審査員 岩淵貞哉

『美術手帖』編集長

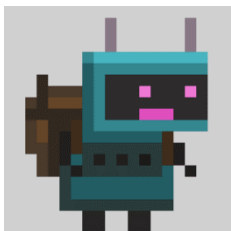
1975年横浜市生まれ。1999年慶応義塾大学経済学部卒業。2002年より『美術手帖』編集部に携わり、2008年から現職。美術出版社取締役。2017年、ウェブ版「美術手帖」をオープン。公募展の審査員やトークイベントの出演など、幅広い場面で現代のアートシーンに関わる。



特別審査員：豊井祐太

イラストレーター

1990年生・福島県出身・高校中退。主に風景を題材にしたアニメーションGIFのドット絵を制作し、自サイトやSNSで公開している。収入はサイトで募集した複数のパトロンから得ている。



特別審査員：Zenny

イラストレーター/ピクセルアーティスト/シブヤピクセルアートコンテスト2018最優秀者

1984年生まれ。千葉県出身。東京藝術大学美術研究科工芸専攻修了。日本の伝統工芸としての彫金を学んだ後、コンピューターゲームの制作過程や美観に魅せられ、ピクセルアート制作を開始。ゲームのキャラクターや背景、UI、アニメーション等の制作を行う傍ら、滑らかなデジタル表現の中に、アナログ絵画が持つ身体性や偶発性を取り込み、「ノイズ」や「グリッジ」などピクセルアートの新たな可能性を模索している。

詳しくは、「<https://pixel-art.jp/03/contest/>」をご覧ください。

■「シブヤピクセルアート」について

「シブヤピクセルアート」は、2017年に渋谷で産声をあげたアートイベントです。「ビットバレー」と呼ばれる渋谷を舞台に、かつてはコンピューターの機能的な制約の中で生み出された「ピクセルアート」を、文字通り「アート」として開放し、現在進行形で変化する渋谷の街にひびきだすことで、その魅力と可能性に迫ります。そして、2025年、100年に一度と呼ばれる渋谷駅周辺の再開発のキーコンテンツとして、世界に類をみない「ピクセルアート」の聖地、「Shibuya Pixel Art Museum」を構想しています。日本人の空間認識やゲーム文化から発展した「ピクセルアート」をその時代背景とともに、展示・収蔵、研究・保管し、また社会サービスを実装した「ピクセルアート」の活動拠点として発展させ、何十年、何百年と後世に残るものにしたいと考えています。

公式HP : <https://pixel-art.jp/>

公式Twitter : <https://twitter.com/ShibuyaPixelArt/>

公式Instagram : https://www.instagram.com/shibuya_pixel_art/

公式Facebook : <https://www.facebook.com/shibuyapixelart/>

■「ROADCAST」について

「ROADCAST（ロードキャスト）」は、渋谷の街中約100か所で同時展開し、街の賑わいにつながるプロモーション/アート展等を展開する街メディアです。東急電鉄の社内ベンチャーが、渋谷の皆様から空いている壁をお借りして、渋谷から、全国へ、世界へ発信できるメディアを目指します。 (<https://roadcast109.com/>)

■協賛企業（株式会社ディー・エヌ・エー/DeNA）様のメッセージ

「シブヤピクセルアート」の開催に向け、スポンサーとして協力できる機会を頂戴しましたこと、大変ありがたく存じます。DeNAは「SHIBUYA PIXEL ARTには、アーティストの自信を引き出す、力がある。」という理念に共感し、この取組を通じて世の中のクリエイターやアーティストが今よりもっと、様々なプロダクトやサービスの根幹に深く関わり活躍できるよう、少しでも尽力できればと考えております。

■主催・協賛・協力・後援について

主催：シブヤピクセルアート実行委員会

協賛：アディダス・オリジナルズ・フラッグシップストア・トウキョウ、株式会社カワダ、株式会社ディー・エヌ・エー、東京急行電鉄株式会社、ROADCAST、株式会社ワコム、株式会社WiseTech

協力：CHIP UNION、美術手帖、Time Out Tokyo、Tokyo Otaku Mode

後援：一般財団法人渋谷区観光協会